

OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

発行：関西学生サッカー連盟
2009年4月25日発行 第2号



第87回関西学生サッカーリーグ
2009年4月25日(土)・26日(日) 第3節

関西学生サッカーリーグ第3節



開始早々の先制点で勢いをつけ価値ある勝利！
(写真中央：大教大・三好洋央)

Photo:UNN関西学生報道連盟

まさに戦国リーグ。2節を終了し、連勝チームが無くなった。どのチームも日程が過密になる4節の前には抜け出しておきたいところ・・・。
今節の戦いからも目が離せない。

■4月25日(土) @鶴見緑地球技場

11:30 Kick off 大院大-大教大

大院大は「がっばり四つの試合になると思う。もっと繋ぐ攻撃ができるようにしたい」と藤原義三監督が語るように、目指すサッカーの実現に向けて取り組む。対する大教大、入口豊監督は「ウチには集中力しか取り柄がない。しかし、それが一番大事」と、関西大相手にあげた勝利に胸を張る。「(大事なことは)選手が一番分かってくれている」と信頼する選手とともに大院大戦に臨む。

14:00 Kick off 阪南大-立命大

前節、ロスタイムの悪夢で大体大に惜敗した阪南大。特に守備面において「基本的な事をしっかり出来るように」(須佐徹太郎監督)、改めて修正を図り、勢いを取り戻したい。立命大は昨年の王者阪南大との対戦こそ「意識せず、準備してきたことを出しきれるか。中身で互角に戦えれば」と米田隆監督が語るように平常心で挑む。

■4月25日(土) @大阪長居スタジアム

11:30 Kick off 関学大-同大

早く初勝利が欲しい、関学大・志田野雄一郎は「まだまだ上を狙うチャンスはある。まずは自分たちのサッカーをして、しっかり勝ちたい」と語る。前節、シーソーゲームを逃してしまった同大は「やっているサッカーの方向性間違いはない」(望月慎之監督)という確信の下、攻撃的サッカーを貫く姿勢。

14:00 Kick off 関西大-大産大

「自分たちで勝手に、勝たなくてはならない、いいゲームをしないとダメというプレッシャーをかけてしまっている。」と関西大・島岡健太監督。「信用している」選手たちと勝点を取りに行く。大産大・榎岡実監督は「ケガ人が多くても関西大とはタレントが違う。チャレンジャーとしてどこまで挑めるか」と関西大を警戒。2節の3得点を自信につなげ「いいイメージを残しつつ守備を修正して臨みたい」(榎岡監督)

■4月26日(日) @山城総合運動公園太陽が丘陸上競技場

11:30 Kick off 京産大-大体大

京産大・古井裕之監督は「先制して守り抜く、自分たちのサッカーがどれだけできるかが鍵。早く1勝したい」と意気込む。対する大体大は「チームとしての組織的守備が上手く浸透している」(松本良太主将)ことを自信に繋げるためにも、連勝したいところ。

14:00 Kick off ひろこ大-桃山大

「どこも差がないと思う。」とひろこ大・望月聡監督が語るようにリーグは正に混戦模様。「課題」克服の解決法を考え桃山大戦に臨む。2試合連続の劇的な展開で勢いが出た桃山大。「ハードワークを忘れずに」(松本直也監督)連勝を狙う。

同志社大学 vs 桃山学院大学

試合は開始1分にいきなり動く。桃山大のハンドで得たPKを同大⑩北森陽介が決めて先制。これで同大が流れを掴み、ゲームをコントロール。しかし、39分に、桃山大・松本直也監督が「今日、注目している選手」に挙げた⑪斉藤達也が鋭いドリブルでPKを誘う。これを自身で決めて同点。だが、試合を支配する同大は、43分に②林佳祐の突破から、最後は22 市川俊治朗が押し込んで突き放す。

後半もゲームの流れは同大だったが、「試合運びは良くて、ボールの失い方が悪かった(同大・望月慎之監督)」ために、桃山大のカウンターを浴びる場面が増える。逆に、桃山大はそこから得たチャンスをモノにする。55分に33 山敷誠也のシュートがバーに当たったこぼれを、28 加藤潤が体ごとゴールに押し込み、再度同点に。76分には、ゴール前20メートル程のFKを⑥岡田翔太郎が左足で見事に叩き込み逆転。そこから同大が猛反撃に出たが、この日ハードワークでチームを引っ張った④宮内豪を中心とした堅い守りで残り時間を耐えた桃山大が、今季初白星を手中にした。

(文:サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)

同大 桃山大

2 - 3

11:30 Kick off
@高槻市立総合スポーツセンター

◆得点◆

同大 1分 10 北森 陽介
桃山大 39分 11 斉藤 達也
同大 43分 22 市川 俊治朗(2 林 佳祐)
桃山大 55分 28 加藤 潤(33 山敷 誠也)
桃山大 76分 6 岡田 翔太郎

阪南大学 vs 大阪体育大学

阪南大 大体大

0 - 1

14:00 kick off
@高槻市立総合スポーツセンター

◆得点◆

大体大 89分 20 松澤 憲伸(5 藤春 廣輝)

開幕戦を順当に白星で飾った前年王者・阪南大だったが、「怪我人や病人でスタメンをいじらなければならなかった(阪南大・須佐徹太郎監督)」ために、1回生5人を含む経験の浅い選手が多くメンバー表に名を連ねた。対する大体大も、去年の総理大臣杯制覇のメンバーが多く抜けたため、「まだまだ。試合をさせてもらっただけで有難い(大体大・坂本康博総監督)」といった状態。キックオフから、30分あたりまでは、かなり硬さが見える内容で、互いにシュートもほとんど打てない。阪南大のエース⑪木原正和や、大体大の⑩川西翔太、⑪山本翔一の2トップが個人の力で打開を図ろうとするが、GKの好守などもあって、スコアレスのまま前半が終わる。

後半は、互いに勝ち点3を目指してアグレッシブになる。流れを掴んでいたのは、大体大。徐々に阪南大のゴール前でプレーする時間が増える。対する阪南大は、木原の快足を足掛かりにカウンターの決定機を作り出す。しかし、それぞれのビッグチャンスが、ゴールの枠に飛ばないケースが多く、引き分け濃厚の雰囲気。そんな中、ほぼラストプレーで、大体大の⑤藤春廣輝がドリブルで仕掛けて中へ折り返す。そこに飛び込んだ⑩松澤憲伸が右足アウトサイドで蹴り込み、劇的な勝利を呼び込んだ。

(文:サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)

関西大学 vs 大阪教育大学

開幕戦で立命大にロスタイムに追いつかれ勝利をつかみ損ねた関西大。一方格上と思われた関学大に上々の無失点引き分けの大教大。試合は開始1分いきなり動く。大教大はゴール正面のFKをFW⑩三好洋央が鮮やかに関西大ゴールに突き刺したのだ。動揺を隠せない関西大に乗じた大教大はFW⑨森原慎之祐、DF⑥山本翔太のシュートで畳み掛ける。関西大はキープ力で優るものの、負傷者によるメンバー入替えが影響したのか、ビルドアップでのミスで意図のある攻撃ができない。対して大教大は攻守に落ち着いたプレーぶり。素早いFKからMF⑩田中俊一のシュートがポストを叩くなどチャンスも作った。

そして後半、エース⑪金園英学を入れて立て直したい関西大の出鼻を大教大が突く。49分、敵陣でDFから奪った三好のパスを受けた森原の絶妙なループシュートが大教大の貴重な2点目となる。しかし金園を基点にボールが回りだした関西大は58分、MF⑩西口大輔の突破からFW⑨前川亮が決め1点差として一方的に攻め立てるが、GK①金川和也を中心に守る大教大の集中力は切れずタイムアップ。「初めて関西大に勝てた!(入口豊監督)」と大喜びの大教大の快勝だった。

(文:サッカーライター 貞永 晃二)

関西大 大教大

1 - 2

11:30 kick off
@高槻市立萩谷総合公園サッカー場

◆得点◆

大教大 1分 10 三好 洋央
大教大 49分 9 森原 慎之祐(10 三好 洋央)
関西大 58分 9 前川 亮(19 西口 大輔)

第87回関西学生サッカーリーグ GAME RESULT 2009年4月18日(土) 第2節



びわこ成蹊スポーツ大学 vs 大阪産業大学

びわこ大は引き分け、大産大は敗戦という開幕戦だっただけに、勝利を目指して激しい点の取り合いが繰り広げられた。大産大は5分にCKからFW⑨西之宮慎司が1部昇格初得点を決め、13分にはMF⑩橘章斗が追加し主導権を握る。追いかけるびわこ大は20分、MF⑬山田尚幸の豪快なゴールで追撃を開始するが、FW⑬浅津知大のシュートは惜しくもポストを直撃し、1点ビハインドのまま前半を終える。

後半もスタートは大産大のシュート意識が高いが、⑬平野甲斐を前節のSBではなく攻撃的なMFに置いたびわこ大が徐々に自らのスタイルを取り戻し圧力を強め、57分にMF⑦小池遼のFKからフリーとなった山田がヘッドで決めて、試合を振り出しに戻す。びわこ大は交代選手を入れて平野をFWへ上げて攻勢を強めると77分、78分に「やっぱり攻撃が楽しい」と言うその平野が怒りの連続ゴールで試合をひっくり返す。大産大の交代出場MF⑬藤井大貴に1点を奪われたものの、山田が「背中！」に当てて「サッカー人生初めて」というハットトリックを達成するダメ押しの5点目で試合を決めた。大産大は同点直後にビッグチャンスを見逃したのが結果的には響いた。

(文：サッカーライター 貞永 晃二)

びわこ大 大産大

5 - 3

14:00 kick off

@高槻市立萩谷総合公園サッカー場

◆得点◆

大産大 5分 9 西之宮 慎司(10 橘 章斗)
大産大 13分 10 橘 章斗(13 西原 周平)
びわこ大 20分 16 山田 尚幸
びわこ大 57分 16 山田 尚幸(7 小池 遼)
びわこ大 77分 13 平野 甲斐(7 小池 遼)
びわこ大 78分 13 平野 甲斐(24 二戸 将)
大産大 83分 15 藤井 大貴(10 橘 章斗)
びわこ大 86分 16 山田 尚幸(20 澤西 宏典)

京都産業大学 vs 大阪学院大学

京産大 大院大

0 - 1

11:30 kick off

@三木総合防災公園陸上競技場

◆得点◆

大院大 17分 9 岡村 和哉(16 小湊 貴裕)

開幕戦、悔やまれる終了間際の失点で勝ち点3を逃した京産大と、同大に5-1と大敗した大院大。お互いまずは初勝利を挙げて、流れに乗りたいところ。先に試合の主導権を掴んだのは大院大。立ち上がりから何度かセットプレーでチャンスを作り、迎えた17分。DF⑩小湊貴裕のCKにFW⑨岡村和哉がヘディングで合わせて1-0。その後も動きの良い岡村に対し、京産大は3バックに変更して対処し、徐々に持ち味を消していく。

京産大は後半開始からFW⑪木付雄大を投入。その木付のスピードを生かした突破などからチャンスを作るも、集中して守る大院大DFに潰され、結局シュートまで持ち込むことができません。更にそこからカウンターを許すなど、なかなか思い通りに試合を進めることができなかった。京産大・古井裕之監督は「決定機をしっかりと決めないと、こういう形で負けてしまう」と苦い表情。一方、大院大・藤原義三監督は「前節大敗しているので、その修正をテーマにしていた。攻撃はもっと繋げるようにならないといけないが、まず結果を出すことが大事だった」と一定の手応えは得た様子。お互い攻撃に課題の残る両チームだが、まずは大院大が初勝利を挙げた。

(文：京産大アスレチック 谷口 達也)

関西学院大学 vs 立命館大学

開幕戦は共に引き分けた両チーム。しかし後半ロスタイムにPKで引き分けに持ち込んだ立命大と、優位に試合を進めながらもスコアレスドローに終わった関学大では、次の試合への勢いに差があったのかもしれない。試合は、ピッチを広く使った攻撃を見せる立命大と、パスとドリブルを駆使し、小気味良く攻める関学大の構図。立命大がDFライン裏に抜け出したFWにロングボールを送りチャンスを作ると、関学大も16分にMF⑩阿部浩之のシュートがポストを叩くなど、前半は拮抗した勝負となった。

後半、まずは関学大が流れを掴む。MF⑬梶川諒太と阿部を中心に攻め込むと、60分に梶川のCKをDF⑤飯田洋介が頭で合わせて先制。その後も関学大ペースで試合は進むが、立命大も立て続けに交代カードを切って流れを引き寄せる。78分、3分前に投入されたばかりの立命大FW⑨登弘幸が早速結果を出した。DF⑩雨森理亮からのボールをDFライン裏に抜け出して受け、見事なシュートで同点に。更に次々と立命大のカウンターがハマリ、終了間際の89分、またしても登が魅せた。自分でも「2点目は入ると思わなかった」と語る、少し強引にも見えたシュートがゴールネットに吸い込まれ、劇的な逆転弾。勝利の立役者は「食欲にゴールを目指す姿勢が実りました」と充実の表情を見せた。劇的な試合を続ける立命大の勢いに注目である。

(文：京産大アスレチック 谷口 達也)

関学大 立命大

1 - 2

14:00 Kick off

@三木総合防災公園陸上競技場

◆得点◆

関学大 60分 5 飯田 洋介(18 梶川 諒太)
立命大 78分 9 登 弘幸(17 雨森 理亮)
立命大 89分 9 登 弘幸(5 前野 貴徳)